

- 岡村和明 (市民連合・南区)
 - ・核兵器のない世界に向けた取り組み強化
 - ・生活環境が変化した児童・生徒の福祉支援
 - ・子ども・子育て支援
 - ・急傾斜地崩壊対策事業の加速
 - ・市立図書館・こども文化科学館のリニューアル
- 吉瀬康平 (日本共産党・東区)
 - ・広域的な幹線道路ネットワーク
 - ・本市の課題解決に向けた人材育成
- 水野考 (自民党・市民クラブ・安佐南区)
 - ・核兵器禁止条約
 - ・黒い雨裁判の判決、及び市が県や国と控訴したこと
 - ・新型コロナウイルス感染症対策と市民支援
 - ・子どもの貧困と子ども子育て支援
 - ・上安産業廃棄物最終処分場
- 椋木太一 (広島新生クラブ・安佐南区)
 - ・「大都市制度」
 - ・市立学校の学習状況
 - ・「地域猫活動」
 - ・児童相談所
- 水野考 (自民党・市民クラブ・安佐南区)
 - ・町内会・自治会への加入促進
- 水野考 (自民党・市民クラブ・安佐南区)
 - ・幼児教育・保育
 - ・GIGAスクール構想の実現
 - ・広島城
 - ・川本和弘
- 川本和弘 (公明党・安佐南区)
 - ・東京オリンピック・パラリンピック開催に合わせた平和推進の取組
 - ・被爆二世の健康管理の冊子作成
 - ・西風新都の都市づくり
 - ・脱炭素に向けての本市の取組
 - ・小水力発電の導入
 - ・市立学校への太陽光発電システム導入
- 平岡優一 (自民党・市民クラブ・中区)
 - ・8月6日の静謐な環境の確保
 - ・広島城天守閣の木造復元

児童相談所の夜間体制

問 本市の児童福祉向上のため児童相談所の夜間・休日体制を見直し、民間委託を検討すべきだが、どうか。

答 本市では、24時間365日体制で虐待通告等を受け付けるため、専任の電話相談員を雇用している。夜間は通告等を受けた後、輪番制で自宅待機している役割職員が連絡を受け対応の必要性を判断し、一時保護などの対応を行っている。休日昼間は電話相談員1名に加え、職員2名が職場待機し対応している。

民間委託については、子どもの安全確保と職員の負担軽減の両面から他都市の状況等も参考にしながら検討していきたい。



椋木太一 広島新生クラブ

地域猫活動の門戸拡大を

問 地域猫活動の申請窓口が町内会・自治会に限られている。ニーズに応えるため、ボランティア団体等に門戸を拡大できないか。

答 地域猫活動は住みよい地域を作るための活動であることから申請対象は町内会・自治会としているが、町内会・自治会が組織されていない地域は、申し込みができない状況にある。このため、今後は継続して活動できるグループ等にも対象を広げることや、NPO法人等への手術費補助など他都市の取り組みも参考に獣医師会や関係機関と協議し、見直しを検討したい。

幼児教育・保育の将来像

問 幼児教育・保育の質の向上を図る拠点として、幼・保両方の機能を有する公立こども園を設置することになっている。認定こども園化に当たっては、両方の良いところをしっかりと引き継いでいく必要がある。しかし、保育園と幼稚園を比べると、幼稚園の方が施設数、教員の数とも少ない。こども園化に当たり、公立幼稚園の培ってきた幼児教育を引き継いでいくことをはっきりさせるため、幼稚園型としてはどうか。

答 新たに設置する公立認定こども園は、幼児教育・保育と一体のものとして公立・私立を問わずその質の向上を図るための拠点として設置するもので、既存の公立幼稚園と公立保育園から統合する園を選



水野考 自民党・市民クラブ

8月6日の静謐の確保

問 今年もデモ団体の拡声器の音量は事前に合意をしていた85デシベルを確実に超えていた。この事実に対しては、実効性を伴う手法をもって、しっかりと改善を図っていただきたいが、現在の市としての取り組み状況はどうか。

答 デモ行進実施団体に対し、合意事項が守られなかったことに強く抗議し、令和3年ほどのように音量を抑えるのか問いかけた。当該団体からは合意事項を遵守できなかったことは遺憾で、対応検討のため協議を継続したいとの申し入れがあった。引き続き式典の挙行に適した環境確保に向け合意と遵守を担保する具体的方策を検討していく。

被爆二世の健康管理の冊子作成

問 被爆者団体や被爆二世の方々が、長年要望してこられた被爆二世の健康管理を記録する小冊子の作成について、国が小冊子のひな型を自治体に提示された場合、本市として作成してはどうか。

答 国も被爆二世健康診断の結果を自身の健康管理に活用することは大事だと思っており、小冊子のひな型を自治体に表示すと聞いている。本市としても健康診断結果を記録する小冊子を発行することは自己の健康保持・増進の意識が向上し健康不安解消の一助となること等から、国の意向を踏まえ、令和3年度に小冊子を作成する方向で検討を進めている。



川本和弘 公明党

被爆ピアノ演奏会オンライン

問 東京オリンピック・パラリンピック開催に合わせて、延期になった被爆ピアノの演奏会を開催してはどうか。その際、世界中へ発信する媒体として、オンライン中継の取り組みも検討してはどうか。

答 大会に合わせ開催予定だった「ヒロシマ・ナガサキ原爆・平和展」は、大会延期に伴い、令和3年度実施方向で開催都市の東京都文京区、千代田区、埼玉県飯能市と調整している。また、被爆ピアノコンサートについても、主催する千代田区と調整を進めているが、オンライン中継も検討中と伺っている。



平岡優一 自民党・市民クラブ

広島城天守閣

問 現在、老朽化問題に直面している広島城天守閣は、今まさに耐震改修か木造復元かの大きな岐路に立たされているが、市としては広島城天守閣の木造復元の実現性について、どのように考えているか。

答 本市が目指す都市像である「国際平和文化都市」という都市建設の最高目標達成に向け、天守閣の木造復元は重要な要素になる。木造復元を求め市民運動が起こる等の機運が盛り上がりつつあることは注目すべきであり、こうした動きが広がっていけば、木造復元の実現可能性は高まると考えている。

用語解説

本文中に赤表記した用語を解説しています

●ゼロカーボンシティ

環境省は、「2050年にCO₂(二酸化炭素)を実質ゼロをすることを目指す旨を首長自らがまたは地方自治体として公表した地方自治体」をゼロカーボンシティとしている。

この12月定例会で市長が「脱炭素社会の構築に向けて取り組み、2050年までに温室効果ガス排出量の実質ゼロを目指す」ことを表明した。

●立地適正化計画

都市計画法を中心とした従来の土地利用の計画に加えて、公共交通によるアクセスの利便性が高い区域に居住機能や都市機能を誘導するエリアを設定して、ゆるやかにこれらの機能を誘導し、公共交通を軸としたコンパクトなまちづくりを推進するために作成した計画。

●就学援助制度

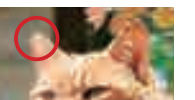
経済的理由から就学費用を負担できない者に、給食費・学用品費・修学旅行費などを援助する制度。

生活保護家庭のほか、市町村が独自に基準を設けて援助している。



●地域猫活動

野良猫問題を地域の生活環境問題としてとらえ、住民・ボランティア・行政が協働でこの問題を解決する活動のこと。地域住民が主体となり、野良猫への不妊去勢手術実施による繁殖抑制、適正な餌やり、猫用トイレの設置や始末などを行っている。手術が済んだ猫は、目印として耳をV字にカットしている。



●乳幼児教育保育支援センター

平成31年(2019年)4月に、本市の乳幼児に係る教育・保育の充実を図るため、私立・公立を問わず、全ての幼稚園、保育園、認定こども園等を支援することを目的として開設した。

幼児教育・保育に係る調査・研究や総合調整、情報提供・啓発活動等を行うほか、幼稚園、保育園、認定こども園等を訪問し、人材育成、保護者支援、園等の運営や環境に関して指導・助言等を行う乳幼児教育保育アドバイザーの派遣を行っている。

令和2年第8回定例会一般質問の様子は市議会ホームページからご覧になることができます!

市議会ホームページ>議会中継>本会議録画中継>令和2年第8回定例会または市ホームページ>■ページ番号でさがす 196078

